

開講科目名 Course	国際経済論研究 (A) / International Economics (A)
時間割コード Course Code	13880
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	火 / Tue 3
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	牛山 隆一
科目区分 Course Group	関連科目
教室 Classroom	6 4 C 演習室
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	牛山 隆一 (経済学部)
授業の目標	本講義は、国際経済の発展プロセス、現状を理解するために不可欠な基礎的理論及び主要な現象について学ぶ。国際経済を巡る主要論点について、データや事例を詳細に分析して理解を深めるとともに、自らの問題意識を明確にし、論理的な議論が行えるようにする。
授業の概要	貿易、直接投資、企業経営、国家間の経済連携、人の移動といった側面から世界経済の発展プロセスと現状を解説し、課題について考察する。また、世界経済での存在感が高まっている中国やASEAN諸国を含む新興国経済に着目し、その理解に不可欠となる様々なテーマを取り上げ、理論や先行研究を確認しながら議論を行う。
評価方法	期末レポート
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし。
授業計画	<p>受講者の関心や理解度、授業の進捗状況等により、内容を変更する場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 国際貿易の深化 3. 拡大する海外直接投資 4. 多国籍企業の事業展開 5. グローバル・バリューチェーンと国際分業 6. 戦後の国際通商秩序 7. メガFTAの時代、FTAの効果 8. 市場アクセスと市場開放 9. 外国人労働者の動向 10. 新興国経済を巡る論点 11. 新興国経済を巡る論点 12. 新興国経済を巡る論点 13. 新興国経済を巡る論点 14. 新興国経済を巡る論点 15. まとめ <p>中所得国の「罌」 人口動態の変化 新興企業の台頭 環境問題 政治と経済開発</p>
テキスト	指定しない。
参考書	授業の際に紹介する。
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含む

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	随時対応する。
フィードバックの方法	随時対応する。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	予習はテーマに応じ、関連文献を読んで準備する。復習の方に重点を置き、授業内容の整理を行い、理解を深めることが重要。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	